

11304時計・同部品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2016	8	11 ～ 12	事務所にて、用事を済ませ出た際に、入口近くに置いてあったダンボールにつまずき、バランスを崩して転倒した。	61	2	416	30～ 49
2	2015	11	11 ～ 12	工場内にて旋盤で製品の加工作業中、製品を機械に取り付ける時に誤って左足が回転レバーに当たり、主軸が回転して、製品と機械の間に右手が挟まれて、負傷した。	18	7	151	10～ 29
3	2015	4	19 ～ 20	雨天時、会社入場の際、警備室に社員証を提示したところ、傘を放してしまったため、傘が自転車の前輪に入り込み、自転車が急停車。前方に投げ出された結果、顔面を強打した。	37	2	362	500 ～ 999
4	2014	12	17 ～ 18	仕事を終え帰宅しようとする自分の車に向い会社の駐車場を歩いていた所、地面が凍っていて少し下り坂だったため滑って転倒し顔面と全身を強打し負傷したものの。	44	2	719	10～ 29
5	2014	10	14 ～ 15	8/19～10/3の日程でブラジルに海外出張中、虫にさされ、帰国後高熱を発症。マラリアと診断された。	37	90	719	500 ～ 999
6	2013	12	14 ～ 15	金型オーバーホールの作業中、パイロットピンの高さ調整のため、ピンをハンマーで叩いた際、ピンが破損し、鉄片が目に刺さった。	42	4	364	50～ 99
7	2013	8	17 ～ 18	メッキ作業中、12kgの装置の取り付けを繰り返した為、腰を痛めた。	33	19	921	500 ～ 999

8	2013	5	9 ～ 10	サファイヤ結晶育成に用いる掃除機のゴミ回収作業中、ゴミをビニール袋に回収しようとしたところ、静電気等の着火要因が重なった為、発火し、首から顔にかけ火傷を負った。	43	11	512	～ 999
9	2012	9	16 ～ 17	機械でケース上斜面のヘアライン目付加工を行っていた際、誤って前後するベースとショックアブソーバとの隙間に指を挟んだ。	28	7	153	100 ～ 299
10	2012	8	20 ～ 21	自転車で帰宅中、縁石に乗り上げ、転倒した。	52	2	239	500 ～ 999
11	2012	6	9 ～ 10	部品の仕分け業務に従事中、高さ1mの棚に重さ約530gのネジが入った袋を置く作業を行っていた。下の段の棚に袋を置く際、しゃがんだまま体を捻ったところ、腰に激痛があり立てなくなった。	36	19	921	500 ～ 999
12	2011	12	19 ～ 20	A工場育成炉において育成した人工サファイヤ結晶を取り出す作業中に、サファイヤ結晶の一部が割れた。割れた結晶が倒れ落ちそうになったのをとっさに防ごうとして、右手首に切創を負った。取り出し作業者は腕カバー（保護具）の着用を義務付けていたが、着用されていなかった。	41	8	529	500 ～ 999
13	2010	12	10 ～ 11	乾燥室から製品を載せた台車を出そうとした時、床(網状)で足をくじき、バランスを崩して他の台車に胸を強打した。	48	2	362	50～ 99
14	2010	10	9 ～ 10	A(株)B事業所3号棟プレスGR内にてクランクプレス35tで作業中に製品品質が悪い為、金型を外そうとした時、左手で上型を持ちながら右ナットを緩めようとした際に突然スライドが下り、左手薬指が挟まれた。(左手薬指、切断)手動での作業中、ホイール停止を確認せず手動クラッチをONに入りにしてた為、スライドが下降した。	54	7	154	100 ～ 299
				当社工場内において、リレクロンマットの組立作業中、針金を2				

15	2010	7	10 ～ 11	人1組で、ペンチを使って切断をする工程でペンチで切った瞬間、針金（復元力がある）が顔に向ってはね、目付近に当たってしまった。当初、本人は問題なしと判断し翌日も通常通り勤務したものの、目に違和感があり、最終的に病院で手術が必要と判断され、入院となった。	37	4	521	10～ 29
16	2010	2	8 ～ 9	出勤時会社内の更衣室から職場への通路で、除雪後の残雪で足を滑らせ転倒。	41	2	417	500 ～ 999
17	2010	2	20 ～ 21	A社溶接工程の作業場で、R-7号機にてエラーが多発しており、作業者が原因を調査しようとして、溶接機左側上部にある操作パネルを左手で操作しながら、原因であると思われる箇所を確認していた。その際、無意識に回転テーブルに右手を乗せてしまい、始動時にまきこまれた。	24	7	169	50～ 99
18	2009	12	16 ～ 17	作業場において、NC旋盤で自動車部品を作製する作業中、可動部についたゴミを取り除こうとした時、誤ってスイッチを入れてしまい、右手の指が旋盤にはさまれて負傷した。	39	7	151	1～9
19	2009	1	8 ～ 9	事務室より会議出席の為、階下に移動しようとして階段（全18段）を降りていた。上から3段目で滑り止めに躓いたが、両手で手帳・メモ台・膝掛けをかかえていたため、バランスを失い、下から7段目位で飛び降り、階段下まで落ちた。	48	2	413	500 ～ 999
20	2007	6	9 ～ 10	駆動コイル検査工程にて、コイル検査後、修正をするために、紫外線照射機を稼働しようとしてブレーカーをONにし、スイッチを押したが、点灯しなかった。ランプ交換のため、ブレーカーをOFFにし、コンセントを抜いて、ランプ取付け部分のネジを取り外そうと両手（素手）で触れた途端、電圧が掛かり感電した。	39	13	351	100 ～ 299
21	2006	8	10 ～ 11	屋外でコンテナから荷物を積み降ろし作業をしているとき、休憩時間になったため構内移動中、後方から来た同僚のフォークリフトが体に触れ、振り向いた際、足をタイヤで踏まれ負傷した。	48	7	222	50～ 99

22	2006	1	10	会議室で会議をしていた際に、急ぎよ必要になった資料を地下の				1000
			～	実験室へ急いで取りに行く途中、地下への階段で滑って転倒し、	38	2	413	～
			11	負傷した。				9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。